

先の 10 月 19 日(日)に行われた平成 20 年秋期の情報処理技術者試験について、先月発表された基本情報 / 初級シスアド試験以外の 7 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、ソフトウェア開発技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

ソフトウェア開発技術者試験(SW)

[平成 20 年秋期のソフトウェア開発技術者試験 統計情報]

応募者	52,951 人
受験者	33,037 人
合格者	6,225 人
合格率	18.8%

今回の平成 20 年秋期試験では、昨年同時期の平成 19 年秋の試験に比べ応募者は 700 人ほどの微増でしたが、合格者は 900 人ほど増えました。合格率は 18.8%で平成 13 年春の実施以来、最も高い値でした。今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

[午前問題]

- ・過去問題の比率は 6 割強でした。このうち、過去のソフトウェア開発技術者の過去問または小改訂問題が 18 問ほどで、例年よりも若干少ない数でした。
- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。来春から新試験制度になる影響か、ここ数回の中では少ない方だといえます。

問 3 接線と x 軸の交点の座標

問 7 BNS で生成される文字列

問 15 流れ図の初期値として考えられる値

問 26 主記憶割当ての“最初適合”アルゴリズム

問 28 マイクロカーネルアーキテクチャを採用した OS の特徴

問 40 DHTML で追加された要素

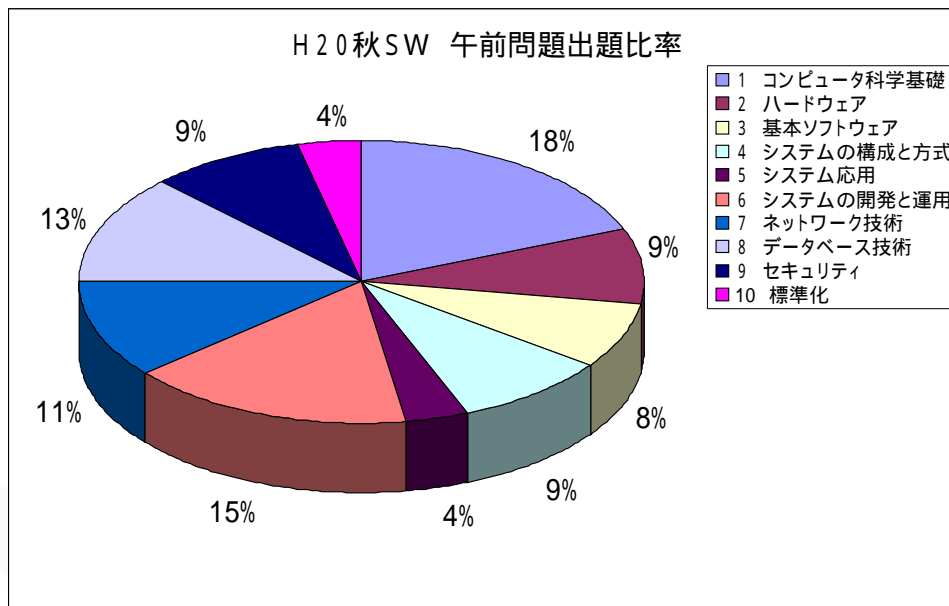
問 46 ユーザビリティ規格の“利用者満足度”の評価方法

問 64 自動的に付与されるビューに対する権限

計算問題は 11 問ありましたが、これは、前回 20 年春試験の 9 問に比べて少し多くなっており、解答を出す負担がやや増えたといえます。

- ・出題された問題の内容としては、従来出題されていた問題を新しい形式にしているものが目立ち、少々難しいと思われる問題が 22 問ありました。全体的には前回とほぼ同じ難易度だったといえます。

平成 20 年秋期のソフトウェア開発技術者試験 午前問題出題比率



〔午後問題〕

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。 全体の難易度例年並み

- 問1 ダイナミックルーティング（ネットワーク）
- 問2 ソフトウェア品質管理（ソフトウェア工学）
- 問3 旅行予約サイトの脆弱性（情報セキュリティ）
- 問4 ソフトウェア開発のプロセスアセスメント（システム開発）
- 問5 ヒープ（アルゴリズム）
- 問6 乗客行動分析システム（データ構造 / データベース）

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。

- 問1 インターネットオークションシステム（システム設計） 難易度は例年並み

午後 の試験では、問 3，問 6 がやや難しい問題でしたが、全体としては例年の午後 試験レベルといえます。

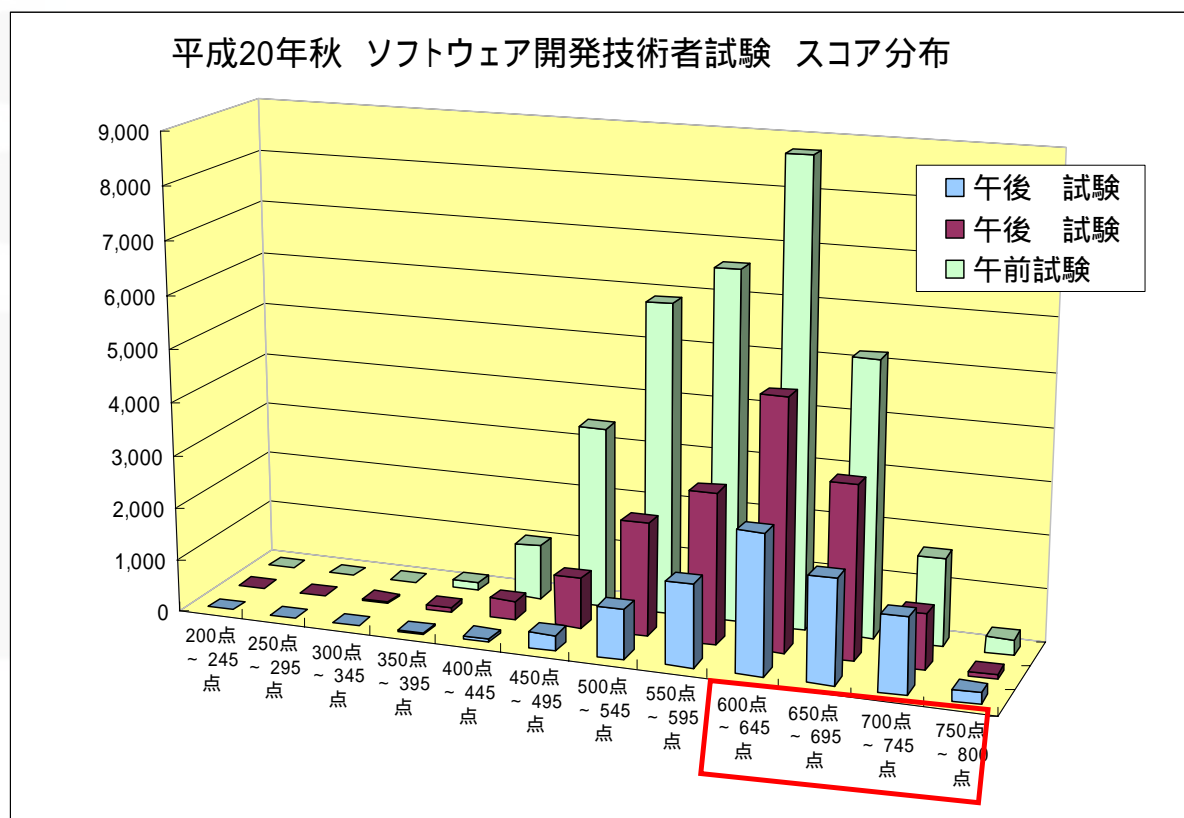
午後 の出題内容は、前回、前々回とアルゴリズムでしたので、今回は予想されたとおり、内部設計問題でした。難易度は全体としては普通といえますが、設問 5 と 6 は少し難しかったといえます。

発表されたソフトウェア開発技術者試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[平成 20 年春 ソフトウェア開発技術者試験 スコア分布]

平成 20 年秋 SW	応募者	受験者	合格者	
人数	52,951	33,037	6,225	
率		62.4%	18.8%	

スコア	午前試験	午後 試験	午後 試験	合格者
200点 ~ 245点	11	7	0	
250点 ~ 295点	9	11	0	
300点 ~ 345点	21	36	0	
350点 ~ 395点	152	88	9	
400点 ~ 445点	1,028	363	71	
450点 ~ 495点	3,419	949	291	
500点 ~ 545点	5,893	2,136	944	
550点 ~ 595点	6,614	2,840	1,562	
600点 ~ 645点	8,752	4,718	2,635	
650点 ~ 695点	5,196	3,267	1,961	
700点 ~ 745点	1,650	1,043	1,416	
750点 ~ 800点	292	88	213	
計	33,037	15,546	9,102	6,225
対前試験比率		47.1%	58.5%	68.4%



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の人が 15,890 人(受験者の 48.1%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えている人が 9,116 人(同 58.6%)、午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えた合格者が 6,225 人(同 68.4%)います。午後試験は、問題の難易度が高いと、600 スコア以上になる人が 4 割程度しかないときがありますので、今回の試験は数値上からはやや易しかったことが分かります。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、今後の対策として、「午前試験で出題される知識の理解度をまず上げる」ことが大切です。

(今回合格された人)

来春から実施される新試験のデータベースやプロジェクトマネージャ、システム監査技術者などの試験を受けられる方は、試験の出題範囲がかなり変わりますので、早めに対策を始め、制度の違いを理解して学習することが必要です。なお、午前試験が二つに分かれ、午前 と午前 試験になりますが、今回合格された方は、午前 試験が免除になりますので、午前 の専門知識試験からの受験になります。

来春または来秋実施される試験で、午後 が論述式のものは、合格するために第三者の添削が欠かせません。弊社の通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書(基礎テキスト)、出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」、各試験別の予想問題集、本試験問題は新試験対策用に大改訂しています。また、すべての書籍が書店でもご購入いただけます。ぜひ手に取ってご覧ください。

試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は試験対策のノウハウや専門知識の理解が深まると好評を頂いておりお勧めです。締切の近いセミナーもありますので、急いで確認しましょう。

通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

来春からは10年ぶりに改訂された新しい情報処理技術者試験で出題内容も大幅に変わります。特に、午前知識でマネジメント系(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査)、ストラテジ系(システム戦略、経営戦略、企業活動、法務)などが加わり、大きく内容が変わりましたので、早めに学習が必要です。苦手な分野については、弊社から出版している新試験用の「応用知識」シリーズのテキストでじっくり学習しましょう。

今回の午前試験のスコアが500点~595点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

また、午後試験のスコアが600点に満たなかった人は、確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では出題内容も大きく変わり、マネジメント系、ストラテジ系問題も午後問題に追加され、12問中7問を解答する試験に変わります。選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょ。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたくえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「午前に出る情報技術」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(合格ゼミはこちら)

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

(以上)

